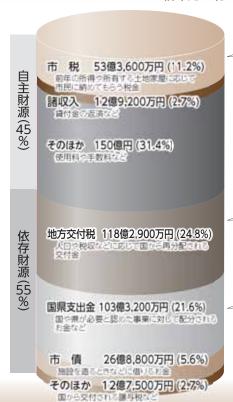
一般会計 歳入決算額 477億5,200万円

前年比76億3,500万円(13.8%)減



市税

個人所得の回復や新築家屋の増加 に伴い、前年度から9,700万円増加

地方交付税

復旧・復興事業の地方負担分に対 して交付される震災復興特別交付 税の増加などにより、前年度から 29億700万円増加

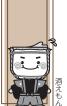
国県支出金

復旧·復興事業の進ちょくに伴う東 日本大震災復興交付金の減少など により、前年度から78億6,300万 円減少

保険料や利用料などの収入で運営していく事業の会計、「一般会計」は、市の基本的な行政サービスに関わる会計 と水道が該当します。 企業と同じ考え方に基づいて会計処理を行う会計のことで、 市の会計は、 市の基本的な行政サービスに関わる会計、 般会計・特別会計・企業会計の3種類に分けられています。 「企業会計」は、 「特別会計」は、 本市は 民

これら3種類の会計の平成27年度の決算概要をお知らせします。

会計



現に向けた事業にも取り組みまし の引き下げなど、 業のほか、 完了するなど、 キの完成や浦戸地区災害公営住宅の入居が が行われました。そのほか、津波避難デッ 新魚市場A棟、C棟の建設工事の本格実施 復興期間」の最終年度となる平成27年度は まちづくりが進められました。 また、放課後児童クラブの対象年齢の 日本大震災から5年が経過 塩竈ニコニコ子育で応援券の配布 国民健康保険税、下水道使用 復旧・復興に向けた新たな 第5次長期総合計画 Ę 集中 の 料 事

|復基調にある市税収入と 復興躍進に向けた歳出

回

により、 額を含んでいるため、 なりました。 た実質収支は21億3,000万円の黒字と それらの翌年度に繰り越すべき財源を除い の復旧・復興事業を繰り越しているため、 となりました。単年度では完成しない大型 600万円、 77億5,200万円、 ただし、この黒字の中には事業費の 平成27年度の一般会計決算は、 翌年度精算しなければならない 差引額が4億1,600万円 相当額を留保して 歳出が435億3, 歳入が、 確 お 金 定

財政の健全性に関する指標

営に取り組みます。

源のさらなる確保に努め、 補っている状況ですので、

安定し 今後も、

た財政に 自主財 主的に調達できる財源(自主財源)の不足を

付される財源(依存財源)で、

市税などの自 国や県から交

また、昨年度に引き続き、

く必要があります。

- ・4指標とも早期健全化基準以下で、前年度数値よりも改善しています。
- ・「実質公債費比率」は地方債発行の抑制による公債費の減少などにより数値が改善されました。
- ・「将来負担比率」は地方債残高の減少などにより数値が改善しました。

健全化判断比率	27年度	26年度	早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率 (一般会計などの赤字を示す指標)	黒字	黒字	13.04%	20.00%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字を示す指標)	黒字	黒字	18.04%	30.00%
実質公債費比率 (借入金の返済費用の割合を示す指標)	11.0%	11.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率 (一般会計などが将来負担すべき負債の割合を示す指標)	18.4%	42.9%	350%	なし

- ※1 早期健全化計画…財政健全化計画を立て、自主的な改善努力が必要となる基準
- ※2 財政再生基準…財政再生計画を立て、国の関与を受け確実な再生が必要となる基準







▶マリンデッキ塩釜 (港町地区津波復興拠点整備事業) (津波避 難デッキ



一般会計 歲出決算額 435億3,600万円

前年比36億9.400万円(7.8%)減

土木費

津波避難デッキを整備する港町地 区津波復興拠点整備事業や災害公 営住宅整備事業などにより、前年 度から28億7,700万円増加

農林水産業費

魚市場の高度衛生管理型荷さばき 所整備事業などで、前年度から 27億1,600万円増加

復興事業の進ちょくに伴い、今 後の復興事業の財源となる東日本 大震災復興交付金の積立金が減少 したことなどにより、前年度から 85億9,400万円減少

土木費 128億3,500万円 (29.5%) 住宅施設や道路の整備など

民生費 73億3,100万円 (16.8%) 高齢者福祉や子育で支援。生活保護な

農林水産業費 69億5,500万円 (16:0%)

総務費 68億5,100万円(15.7%) 市税 政策、行革 情報。 行政の総合的な運営に

公債費 38億1,800万円 (8.8%)

14億5,800万円 (3:3%)

災害復旧費 4億6,600万円(41.1%)

そのほか 38億2,200万円(8.8%)

1人あたりいくら使われたの?



435億3,600万円 -般会計歳出決算額)



人口55,247人 (H28.3.31現在)

市民1人あたり 788,025円

内訳

土木費 232,320円

、民生費 132,695円

林水産業費25,889円

総務費 124,007円

公債費 69,108円

教育費 26,391円

災害復旧費 8,435円

きたいね。

そのほか 69,180円

平成27年度の主な事業

土木費	港町地区津波復興拠点整備事業 災害公営住宅整備事業 新浜町杉の下線道路事業 市営住宅改修事業	11億7,200万円 10億2,400万円 2億700万円 8,000万円
民生費	子ども医療費助成事業 臨時福祉給付金給付事業 津波被災住宅再建支援事業 災害義援金等支給事業 子育て世帯応援券事業	1億2,600万円 9,800万円 9,300万円 5,400万円 3,300万円
農林水産業費	高度衛生管理型荷さばき所整備事業 水産加工業施設整備等支援事業 新浜地区漁業集落防災機能強化事業	40億500万円 13億1,300万円 3億8,000万円
総務費	東日本大震災復興交付金基金積立金 スマートグリッド通信インタフェース導入事業 浦戸ステイ・ステーション整備事業	35億6,100万円 4億3,200万円 1億8,700万円
教 育 費	小中学校施設整備事業 温水プール太陽光発電設備等導入事業	4,200万円 4,100万円
災害復旧費	漁港·道路などの災害復旧工事	4億6,600万円
そのほか	割増商品券事業 第一小学校周辺地区耐震性貯水槽整備事業	4,500万円 2,800万円

へえ。

すごくお金がかかり

☆課財政係☆355-5814般会計に関する問い合わせは

のことも考えて整備を進 かなければならないから、 もしっかり考えないといけな 設だから、 かないとね。 建設後の維持管理経費のこと 復旧・復興のために そうね。 大切に受け継 塩竈市で負担して 作 心でいた施 めて

のてい来してい

ているの。を取り崩したりして整備を進 が生じるものもあるから、 交付税によって建てられている らの復興交付金や震災復興特別 したり財政調整基金という貯金 これらの建物の多くは、 でも中には、 塩竈市の負担 借金 玉

設されているのよ。例えば、災興のために、いろんな建物が建そうね、震災からの復旧・復 がいろいろできているね。 建て替えを行ったり、 減らすため、下水道のポンプ場 では津波避難デッキが完成した 害公営住宅の建設や、 貯留管も整備中なのよ。 最近、塩竈市内に新しい建物 ほかにも大雨の時に被害を 港町地区 魚市場の



では、 昨年に引き続き、 10会計すべてが収支均衡以上で 平成27年度の決算

るため健全化に努めます。 200万円増となっています。 の本格実施に伴い、前年度から56 般会計からの繰出金は、 より安定した財政運営を図 復興事業)億6.



<u>*</u>

収益的収支

水道水を作り、

給水するために必要な

収益的収支(税抜)※1 健全経営の確保

13億9,984万円で、2億4, 万円の黒字が生じました。 収入は16億4,808万円、 支出 824 は

資本的収支(税込)※2

757万円で、5億77万円の資金不足収入は3億680万円、支出は8億 が生じましたが、 んしました。 留保資金などで補て

利益剰余金

歳出決算額

2億1,500万円

75億3,300万円

90億6,900万円

2億6.200万円

1億700万円

4億3,900万円

6億5,300万円

5億5,500万円

3億9,100万円

241億8,300万円

49億5,900万円

8,469万円となりました。 平成27年度水道事業決算では、 15

億

平常時の漏水事故減少を図るための老

さらに、地震による断水被害および

朽管更新事業として、

本町、

笠神、

新

白萩町、

桜ケ丘地区の4路

線

工事を行いました。

(延長1,084・2㍍)の配水管敷設替

設替工事を行いました。

栄町地区(延長155・8㍍)の配水管敷

第6次配水管整備事業として、

泉沢町

また、

安心安全な給水を図るため

Ó

心急給水体制の充実

び可搬式給水車を最大限に活用した給 難所の給水ポイント12カ所に応急仮設 貯水槽を設置しました。また、 (槽を整備しました。 このことにより、 指定避難所の給水体制の充実を図る **!を設置しました。また、指定避第一小学校に飲料水兼用耐震性** 加圧式給水車 お

歳入のうち一般 会計からの繰入金

7,400万円

3.900万円

4,700万円

1億400万円

7億700万円

8億700万円

4億600万円

106億5,500万円

1億6,500万円

5億1,700万円

77億8,900万円

歳入決算額

2億1,500万円

2億6,300万円 122億5,400万円

1億1,900万円

4億3,900万円

49億6,200万円

6億6,700万円

8億700万円

4億600万円

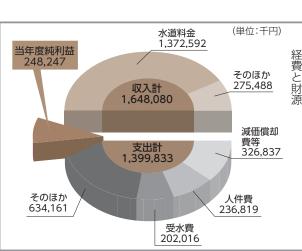
278億5,100万円

水ができるようになりました。

今後は、迅速で確実な応急給水体制

77億1,900万円

練を実施していきます 所を開設する職員を対象に応急給水訓 を構築するため、 自主防災組織や避難



事

国民健康保険事業

公共用地先行取得事業

後期高齢者医療事業

北浜地区復興土地区画整理事業

藤倉地区復興土地区画整理事業

合 計

交通事業

魚市場事業

下水道事業 漁業集落排水事業

介護保険事業

財政課財政係☆355-581特別会計に関する問い合わせ!

は

||政課財政係☎355-5814

業

▲防災訓練で「飲料水兼用 耐震性貯水槽」からくん だ水を提供しました

水道会計に関するお問い合わせは 水道部業務課経理係☎364-1415

そのほか (単位:千円) ※2 資本的収支 57,579 企業債 119,100 補てん財源 500,773 国庫 収入計 306,800 補助金等 130,121 災害復旧 支出計 807,573 159,829 企業債 償還金 409,469 老朽管更新事業費 136.647 排水処理施設 改良事業費 8,532 第6次配水管整備事業費 48,517 水道改良費 44,579

▲災害復旧による配水管の敷設替工事

港町、 風沢、 した。 8・6 ㍍)の配水管敷設替工事を行 3,385·2××), 事として、 被災した水道施設などの災害復旧工 海岸通地区の2路線(延長38 平成26年度の繰越事業で寒 藤倉地区の3路線(延 平成27年度事業で 長 ま

災害に強い水道の整備

広報しおがま2016年11月号 ---

収益的収支 (事業運営費)

(≌	単位:万円)
F度	前年差
101	25.139

	(年位:/川)				
		27年度	26年度	前年差	
総収益 ①		310,240	285,101	25,139	
	医業収益	250,901	234,052	16,849	
	医業外収益	33,483	25,246	8,237	
	特別利益	25,856	25,803	53	
総	費用 ②	296,037	284,055	11,982	
	医業費用	288,484	268,318	20,166	
	医業外費用	7,518	9,523	△2,005	
	特別損失	35	6,214	△6,179	
븰	4年度純利益 ① - ②	14,203	1,046	13,157	

		,	T 12 . 751 37
	27年度	26年度	前年差
総収入 A	10,549	53,044	△ 42,49 5
一般会計からの 負担金・補助金	7,919	9,710	△1,791
企業債・ 長期借入金	2,530	34,800	△32,270
国県補助金など	100	8,534	△8,434
総支出 B	32,407	66,377	△33,970
建設改良費	3,117	40,195	△37,078
企業債償還金	25,640	24,682	958
長期借入金 償還金	3,650	1,500	2,150
* 리			

収益的·資本的収支 前年度比較

	27年度	26年度	前年差
総収入 A	10,549	53,044	△ 42,49 5
一般会計からの 負担金・補助金	7,919	9,710	△1,791
企業債・ 長期借入金	2,530	34,800	△32,270
国県補助金など	100	8,534	△8,434
総支出 B	32,407	66,377	△33,970
建設改良費	3,117	40,195	△37,078
企業債償還金	25,640	24,682	958
長期借入金 償還金	3,650	1,500	2,150
差 引 A-B	△21,858	△13,333	△8,525

資本的収支(設備投資)

(単位:万円)

2億1,858万円は留保資金で補て 額3億2,407万円となり、 んしました。 収入は総額1億549万円、 不足額 支出総 資本的収支(税込)

額266,039万円となり、

純利益

八減少しました。

収益では、当病院が塩釜地区唯一の

支出総

となっており、

1日平均入院患者数で

は前年から0・5人増加したものの

日平均外来患者数は前年から6・9

05人、外来患者数は60,121人

平成27年度の入院患者数は51,

肝疾患専門医療機関

収入は総額31億240万円、

1億4,203万円が生じました。

収益的収支(税抜)

決算概要

が前年より大きく増収しました。 取り組み、診療収入が増加し医業収益 肝疾患専門医療機関に認定されている ことから、新薬治療による肝炎治療に 一方、支出においても、

よる減価償却費の増により、 伴う薬品費の増と前年度の設備投資に は前年より増加しました。 新薬治療に 医業費用

旧会計基準では不良債務は

発生していません

き続き旧会計基準では不良債務は発生 が流動負債に計上された結果、流動負 り、企業債償還金や引当金などの一部 しませんでした。 なり取り組んだ結果、平成27年度も引 宮健全化に向け病院事業職員が一丸と 病院改革プラン」最終年度として、 債が増えました。 成26年度の会計基準見直しによ しかし、「塩竈市立 経

※なお、改革プランの達成状況や評価 ページに掲載していますので、 に関する報告書などは、当院ホーム ください。

医療機器整備と施設改良事業

塩釜地区唯

<u>ー</u>の

を実施しました。 いて、 企業債を活用した施設改良事業にお 外来棟(1階)トイレの改良工事

のとおりです。 療機器を整備しました。 また、診療の効率化を図るため、 主な内容は次 矢

眼科用レーザー光凝固装置/手術室超 手術用生体情報モニタ/人口呼吸器) 首波凝固切開装置などの更新

地域に根ざした医療の提供

地域包括ケア病棟の開設

設して、生活機能支援および在宅復帰 支援に取り組みました。 |地域包括ケア病棟||を昨年6月より開 地域で安心して生活できるように

在宅医療への支援

提供しています。 して24時間体制の在宅医療サービスを 塩釜地区唯一の在宅療養支援病院と

性の向上に努めました。 事業を開始し、 支援の一助として昨年8月よりショ トステイ利用者向けの送迎サービス 利用者のさらなる利便

地域と共に支えあう医療を



▲委託業者による、自宅から病 院まで安心できる送迎が利用 者に喜ばれています

定です。 りながら、



▲無理なく体を動かし、会話などを楽しみな がら、笑顔で健康維持に取り組んでいます

地域への健康づくり支援

ずなの形成強化事業として、 づくり支援に取り組みました。 康に関する講義を行い、地域への健康 科職員が町内会などに赴き、 災害公営住宅入居者と近隣住民のき 運動や健 リハビリ

市立病院業務課経理係☎364-5521病院会計に関するお問い合わせは

革プラン」を策定しています。 要とされる病院を目指し、 は公立病院として、地域の住民から必

現在「新改

宮城県

改革プラン終了に伴い、

市立

が策定する地域医療構想と整合性を図

平成28年度中に公表する予